

GINA 世界喘息デー

in 和歌山 2013



市民公開講座のお知らせ

2013年5月25日(土) 14:00~
県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛 6F 603 (13時開場)

定員90名
参加費無料

開会の辞

第1部

14:10~15:00

「こどもの喘息」

国立病院機構 南和歌山医療センター 小児アレルギー科

土生川 千珠



第2部

15:10~16:00

「成人喘息」

宮川医院 院長

宮川 武彦



閉会の辞

呼吸機能検査で
喘息コントロール
をチェック!



呼吸機能検査を行うと、
喘息のコントロール状態がかなり正確にわかります。

当日は、無料の呼吸機能検査コーナーを設けます(13~14時、16時以降)。
小学1年生以上の喘息患者さん(本人)が対象です。
呼吸機能検査は医師の指導の下に行います。
呼吸機能検査を行う前に、身長を確認させていただきます。

■主催/グラクソ・スミスクライン株式会社

■後援/GINA日本委員会、和歌山吸入療法研究会、社団法人和歌山県医師会、

和歌山県保険医協会、社団法人和歌山県薬剤師会、社団法人和歌山市薬剤師会、

株式会社和歌山放送、朝日新聞和歌山総局、フクダ電子株式会社、喘息フォーラム・日本(Asthma JP)



GINA 世界喘息デー in 和歌山とは

- GINA(ジーナ)世界喘息デーは1998年に始まりました。喘息の最新治療を世界中に普及し、喘息患者さんに正しい情報を提供するのが目的です。主催団体のGINAは喘息治療の国際ガイドライン(指針)を作成した専門医の組織で、2015年までに、喘息による入院を半分に減らそうと計画しています。
- GINA世界喘息デー in 和歌山は2011年から始まりました。喘息患者さんに正しい情報を提供し、県内の喘息死を減らすと共に、すべての喘息患者さんが快適な毎日を送れるよう支援します。毎年5月、講演会その他の活動を行います。

最適な 喘息治療とは

- 喘息は、高血圧や糖尿病などと同じく、慢性疾患の1つです。喘息症状がなくても、空気の通り道である気管支には、慢性的な炎症が残っています。この炎症を抑えるもっとも効果的な薬として、吸入ステロイド薬が推奨されています。
- 吸入ステロイド薬は常用量であれば、長期に使っても安心です。喘息と診断されたら、早期に吸入ステロイド薬を開始し、医師の指示に従って、継続して治療することが大切です。
- 喘息の重症度を判断する際、自覚症状はあまり当てになりません。呼吸困難は喘息発作の末期に現れる症状です。呼吸機能検査を定期的に受け、最適な喘息治療を行いましょう。

県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛 6F 603

〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2
TEL 073-435-5200

[アクセス] 阪和自動車道 和歌山IC出口から約15分
JR和歌山駅からバスで約5分
JR和歌山駅から徒歩約15分

